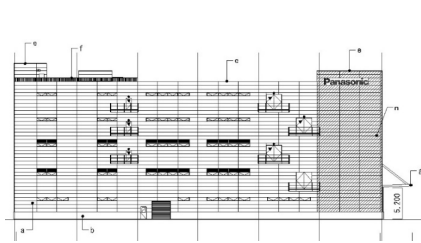


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パナソニックサイクルテック棟	階数	地上5F、地下0階
建設地	大阪府柏原市片山町278番2,285番1	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	350 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2025年2月17日
敷地面積	2,733 m ²	作成者	森下嘉雄
建築面積	992 m ²	確認日	2025年2月21日
延床面積	4,573 m ²	確認者	森本欣伸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.7 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境効率 G (kg-CO₂/年・m²) 環境負荷 L (kg-CO₂/年・m²)	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

項目	スコア
音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

項目	スコア
機能性	N.A.
耐用性	3.1
対応性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.7

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

項目	スコア
建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	N.A.
効率的	3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

項目	スコア
水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

項目	スコア
地球温暖化	N.A.
地域環境	2.2
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項	その他	
総合 大阪府柏原市の工場敷地内に増築される工場の計画である。耐用年数の長い材料の採用、節水器具の採用により、建物の維持管理や省資源に配慮している。	特になし。	
Q1 室内環境 対象外。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い外装、配管材料を採用し建物の維持管理に配慮している。また、ゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 外構緑化に積極的に取り組んでいる。
LR1 エネルギー エネルギー運用管理体制を整え、管理方針やエネルギー消費量の目標値を計画している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用や使用材料を削減することで、省資源に配慮している。	LR3 敷地外環境 屋外広告物照明はなく、光害対策に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)パナソニックサイクルテック株式会社 柏原工場 H棟新築工事							
建設地		大阪府柏原市片山町							
用途／区分		工場							
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B－		
①	CO2削減	評価対象外					評価対象外		
②	みどり・ヒート アイランド対策						2		
③	断熱性能	評価対象外					評価対象外		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外					評価対象外	
④	エネルギー消費性能	評価対象外					評価対象外		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外					評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外					評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—		
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—	
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—	

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮		－
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化		－
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		